

松下幸之助記念財団 研究助成
研究報告

(MS Word データ送信)

【氏名】

遠藤 総史

【所属】(助成決定時)

大阪大学

【研究題目】

宋朝の天下理念とその「周辺」

【研究の目的】(400字程度)

本研究が扱うのは、宋朝の対外関係史である。近年、日本の「東部ユーラシア」論に代表されるように、10～13 世紀の東アジアとそれを取り巻く内陸アジアや東南アジアなどを一つの地域的な枠組みとして捉え、その中で従来のような「一国史」的歴史象を相対化することで、新たな地域世界史を描き出そうという試みが世界的に行われている。中国史研究においても、このような地域世界史で視野を「宋代中国史」を相対化する必要性が認識されている。しかし、このような新たな地域世界史は、主に中央アジア史の視点から、この時代の中国中心の歴史観を見直すという志向が強く、東南アジアや中国西南地域は実際の議論ではほぼ無視されてきた。そこで本研究は、敢えて「冊封・朝貢」や「賓礼(外交儀礼)」のような中華的要素に注目することで、「宋代中国」の対外関係史の中に東南アジアや中国西南地域との関係を組み込み、それをその他の周辺諸勢力との関係と比較することで、近年の地域世界史の議論の中に東南アジアや中国西南地域の存在を登場させることを目的とした。

【研究の内容・方法】(800字程度)

本研究は、宋朝にとっての天下のあるべき領域範囲(天下理念)における「周辺」の位置づけを時間軸に沿って検討することで、宋朝の天下理念の変動を把握し、その背景にある諸要因の解明を通して、天下の動的側面を提示することを目的とした。本研究は、助成を受ける以前に発表した研究(遠藤総史「未完の「統一」王朝—宋朝による天下理念の再構築とその「周辺」—」、『史学雑誌』126 編 6 号、2017 年)が前提となっており、その中で申請者は、①徽宗期(1100～1126 年)と②南宋成立期に天下理念が「再編」されていることを指摘し、その経緯や背後関係の解明は今後の課題とした。本研究は、この二つの課題をクリアすることをテーマとしている。

①: 徽宗期、宋朝は大理・占城・真臘の各君主を「節度使」に任命し、はじめて統治の完全委任を意味する「国王」号で封爵した。この天下理念拡大の背景、徽宗期に行われた「政和の官制改革」に注目して考察する。この官制改革は、節度使に代表されるような武官の「使職」を実質的に廃止したものである。そのため「政和の官制改革」との関係を検討することで、宋朝の天下理念の中における「未回収の中国(=節度使)」の位置付けの変化を解明することができる。さらに、このような位置付けの変化の背景要因を、金朝の勃興を背景にした宋朝の対遼戦略の変化と、それに伴う南方での安全保障政策に注目し検討した。

②: 金朝の勃興によって西北方面との関係が絶たれた宋朝は、南遷後まもなく東南アジア諸国(交趾・占城・真臘・閩婆)に冊封し、東南アジアとの関係を中心に自身の天下理念を再編していく。この再編過程と背後関係を、近年研究利用が進んでいる南宋期の儀礼書『中興礼書』が持つ 3 つの特徴に注目して解明する。第 1 は、南遷後の礼制復興過程を記録している点。第 2 は、国別に記録された「入朝儀礼」の構成が、(金朝を除けば)北宋期の儀礼書と比べて明らかに東南アジア諸国に偏っているという点。第 3 は、「入朝儀礼」の中で唯一内容が残っている「占城条」の大半が、南宋が初めて朝貢使節を首都に受け入れた「紹興 25 年(1155 年)」の占城使入朝儀礼の詳細な記録であるという点である。

【結論・考察】（４００字程度）

①：本テーマでは、宋徽宗期における「政和の官制改革」と国際情勢の変動に注目して考察した。その結果、五代以来の天下秩序の性質上、天下理念は常に拡大する可能性があったが、宋朝の統一王朝としての直接支配という前提が天下理念の無制限な拡大を抑制していたことが明らかになった。しかし、「政和の官制改革」によって宋朝周辺の節度使政権が宋朝の統治体系から切り離され、地理的実態と直接支配という前提がなくなった結果、節度使は完全に理念的存在となり、対遼関係の不安定化もあいまって、天下理念の南方への拡大へとつながったことがわかった。

②：本テーマでは、南遷後の宋朝の礼制復興過程を記録した儀礼書である『中興礼書』に注目し、特に『中興礼書』の外交儀礼に関する項目が持つ特徴に焦点を当てて、その特徴が生じた背景を『宋会要輯稿』等の他史料を用いて考察することで、南宋における外交儀礼（「賓礼」）の復興・再編過程を明らかにした。さらにその過程において、南宋と東南アジア・中国西南諸勢力との関係が持った歴史的意味を提示し、東部ユーラシア論に代表されるような地域世界史論の実際の議論の中に東南アジア・中国西南地域を入れる必要性を具体的に提起した。